

## 第1回みえ出前県議会

議会改革諮問会議の第一次答申において提案のあった「みえ県議会出前講座」（学校のみを対象）を一般県民にも広げ、意見交換する取り組みとして、「第1回みえ出前県議会」を10月24日、津市内で開催しました。

今回は、三重県議会における女性議員の割合が全国平均よりかなり低いことや、昨年実施した県民意識調査で、県議会への関心度や県議会の役割に対する認識度が男性より女性の方が低い傾向が見られたことなどから、「県議会への女性参画」をテーマに一般公募を含む県内在住の女性22人の参加がありました。

会議では、三重大学男女共同参画コーディネーターで客員教授の鈴木雅子氏の進行のもと、県議会の末松則子議員および杉本熊野議員の二人の女性議員により、議員の役割や活動について、自身の経験談も交えた説明があった後、意見交換を行いました。

鈴木氏から、男女共同参画の現状についての説明があり、「男女共同参画は時代の流れであり、一層の推進が期待される」「女性の社会進出を阻んでいるものをなくす努力をすべき」な

どの提案がありました。

また、参加者からは、「民意を吸い上げるには女性の視点が大切」「本当に困っている人が幸せになれるよう、民意を反映できる女性議員を増やしてほしい」「今回のように女性が学習できる場を増やしてほしい」「男性の意識改革が必要」「県議会への関心を高めるため、県議会自体のアピールをもっとすべき」などの意見がありました。今後は、今回の取り組みを検証し、広聴機能を強化する具体的な仕組みづくりにつなげていきます。



## 紀伊半島三県議会 交流会議

7月26日、奈良市において、紀伊半島三県（三重県、奈良県、和歌山県）議会による、第4回紀伊半島三県議会交流会議を開催しました。

会議では、紀伊半島三県議会の議員が会し、紀伊半島の振興および発展に資するため、各県が直面している観光振興、林業振興などの共通課題について意見交換を行い、紀伊半島各県議会議員の連携・交流を図りま

した。

また、林業振興にかかる課題の中から、国内産の需要拡大対策などにかかると国への要望書の提出について、三県で合意しました。



## インターンシップ 実習生の受け入れ

三重県議会における政策立案機能の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する実践的能力を有する人材の育成などを目的として、8月30日から9月17日まで、京都大学公共政策大学院の学生2人を三重県議会インターンシップ実習生として受け入れました。

実習生には、新エネルギー調査特別委員会や議員提出条例に

係る検証検討会に関して、調査や資料案の作成、議員との打ち合わせ、

検討会の運営補佐などの議会事務局における実務を経験していただきました。



正副議長と懇談する実習生